

生活支援体制整備事業における外出支援の取組み

(1) これまでの取組

・令和元年度

「静岡県高齢者の移動支援サービス創出支援事業」への参画をきっかけに、金谷地区において住民主体の外出支援サービスが創出された。

・令和3年度

補助金制度とボランティア養成講座を開催する「高齢者外出支援サービス支援事業」を立ち上げた。

また、六合地区において住民主体の外出支援サービスが創出された。

・令和4年度

大津地区において社会福祉法人の空き車両を活用した買物支援サービスが創出された。

・令和5年度

第一小学校区において住民主体の外出支援サービスが創出され、実証実験が実施された。

中河地区においては社会福祉法人等と連携した外出支援サービスの創出をめざし、制度設計が行われた。令和6年4月の実施を目指す。

(2) 概要

地区	実施主体	運転者	車両提供者	備考
金谷	金谷応援隊	応援隊サポーター	応援隊サポーター	付添（買物、通院等）を含む外出支援
六合	道悦島応援隊			付添（買物、通院等）を含む外出支援
第一小学校区	さくら応援隊			※実証実験中
大津	大津地区社会福祉協議会	大津地区社会福祉協議会ボランティア	(福)牧ノ原やまばと学園	市内商業施設を目的地とした買物支援
中河	中河ほのぼの会 (地域ふれあい事業)	(福)初倉厚生会職員 (株)エストライズデイサービスセンター グラシア島田職員	(福)初倉厚生会 (株)エストライズデイサービスセンター ターグラシア島田	地域ふれあい事業参加者を対象とした外出支援

(3) 課題と今後の方針

中河地区の取り組みは新たな形の外出支援となった。制度設計から社会福祉法人等が参加し運送方法を検討したことで、社会福祉法人も地域ふれあい事業スタッフ

も互いが無理のない範囲で事業を実施することが可能となった。他地区においても、「無理のない範囲で出来ること」を積み重ね、新たなサービスの創出を目指していく。

これまで、社会福法人等の協力を得た取組みや、住民主体の生活支援や外出支援の取組みが創出されているが、馴染まない地域も多くある。そうした地域にも選択肢として提示できるような新たなサービスの創出にも取り組む必要がある。

また、担い手不足や高齢化も依然として喫緊の課題となっている。

今後も新たなサービスの立ち上げに取り組むとともに、サービス実施団体が継続した活動ができるよう、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等と連携しながら地域住民、企業等に働きかけを行っていく。